

県・市連携文化施設 実施設計概要版

平成31年3月

佐藤総合計画・小畑設計共同企業体

建築計画基本方針

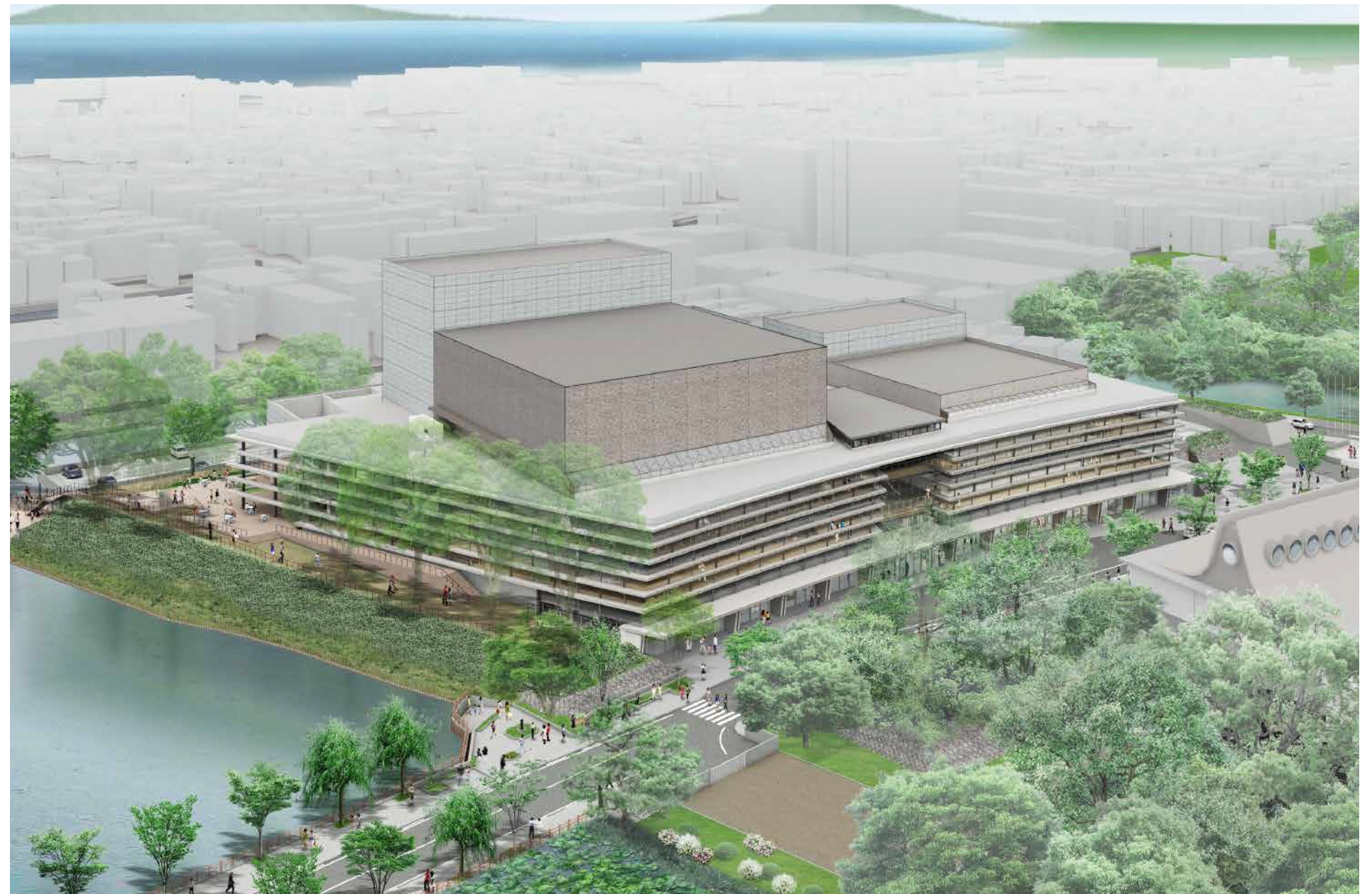
1.はじめに

秋田県と秋田市が連携して整備する県・市連携文化施設については「県・市連携文化施設に関する整備計画(平成29年1月策定)」に基づき、県民・市民が集い「創造」「練習」「発表」という各ステージで、優れた環境を提供するとともに、芸術文化に触れる機会を拡充し、人が集う「場」を創出することで、地域の活性化に貢献する施設とすることとしています。

計画地は、千秋公園に隣接し、秋田の歴史、文化の中心として長く県民、市民に親しまれてきた場所であり、また、秋田市が推進する「芸術文化ゾーン」の中にあり、周辺施設との連携や立地環境を活かした、芸術文化の香り高い地域を目指しています。

このため、施設整備にあたっては、県・市の文化振興はもとより中心市街地の賑わい創出に貢献し、歴史ある千秋公園との調和を図りながら、都市の魅力を発信できる高いデザイン性と秋田の文化を象徴するに相応しい施設として計画します。

また、県・市連携文化施設は、この施設を利用する方々、訪れたお客様に、質の高いサービス、おもてなし、環境を提供します。そして、県民、市民が誇りと愛着を持つことのできる、秋田を象徴する「溢れる賑わい、美しい感性、秋田らしい文化」のある施設としていきます。



外観透視図(俯瞰)

2.建築計画の基本方針

Concept1 [環境との調和]

敷地四周の原風景を大切に

保存する土塁や樹木に加えて、更に敷地北側の土塁も可能な限り残し、お堀側、中土橋通り側、千秋公園や佐竹小路の原風景を大切にします。

お堀や土塁、保存樹などと呼応し、新たに生まれる景観

土塁の高さに配慮したホワイエやテラスにより、施設の利用風景が樹木の向こうに展開する魅力ある景観が広がる建物構成とします。

水平の低層部と高さを抑えるボリューム配置

水平ラインを基調とした層状の低層部で建物周囲を取り囲みます。客席やフライタワーを建物中央に寄せ、低層部から飛び出るボリュームを小さく見せ、周辺への圧迫感を軽減します。

Concept2 [敷地利用と動線]

芸術文化の活動空間「秋田小路」

二つのホールは現況の県民会館地盤を活用することで、1階に拡がりのある交流空間「秋田小路」を生み出します。中土橋通りの「賑わいの軸」に沿ってエントランスを大きく取ることで、道行く人々を施設に引き込みます。

敷地の東西をつなぐ「芸術の路」

佐竹小路側を「文化の軸」と設定し、東西の動線を結び「芸術の路」をつくります。芸術活動が垣間見える魅力的な創造発信拠点をつくります。

安全安心に配慮した文化施設

敷地内には回遊性のある歩行者動線、ゆとりのある車寄せ、わかりやすい車両出入口を計画します。

Concept3 [利用者等への配慮]

来館者への配慮

入口からすべての行き先が見えるわかりやすい空間構成とします。施設中央にはメインの縦動線である「アートキューブ」を設け、各ホールのホワイエにわかりやすくアプローチします。

演者等への配慮

独立性のある楽屋ゾーン、舞台の搬出入がスムーズで安全な計画とします。

ユニバーサルデザインの徹底

子供からお年寄り、障がい者、観光客、外国人など様々な利用者に配慮したユニバーサルデザインを施設に取り入れます。

Concept4 [芸術文化と賑わい]

温かみのある、包み込まれる一体感「高機能型ホール」

柔らかな壁とバルコニーに包まれた特別感のあるホールとします。様々な演目への対応、豊かな響きのあるホールとします。

演出性が高く、臨場感のある「舞台芸術型ホール」

演劇や舞踊など舞台芸術の上演を主用途とするホールとして、演者の肉声や直接音が明瞭に伝わるホールとします。

公園のように利用できるホワイエ「パークホワイエ」

ホワイエはホール利用時以外での日常的な利用を想定し、気軽にくつろげる県民・市民のスペースとして計画します。お堀、久保田城址、芸術文化ゾーンを眺める明るい空間とします。

構成施設説明

1.高機能型ホール 秋田を代表する高い音響性能やステージ機能を持つ、高揚感を感じられるホール

あらゆる音楽や舞台に対応可能な多目的ホール

ポップス系音楽興行、吹奏楽の大会、クラシック、歌舞伎、オペラ、ミュージカル等、幅広い演目に対応できる舞台機構や仮設花道、設備を備えたホールです。客席前5列は前舞台やオーケストラピットに転換が可能な自由度の高い計画としています。

ゆとりのある客席計画

客席は鑑賞のしやすさを重視した、ゆとりのある計画としています。観る側と演じる側が柔らかな壁とバルコニーに包まれた、一体感を得られるホールとしています。

舞台のスペースを十分に確保した県内随一の劇場

主舞台・袖舞台を合わせた広大な舞台は、県内随一の広さを誇る舞台です。プロセニウム型のホール形式とし、様々な演目に合わせて間口、高さが可変する構成としています。クラシック等の音響効果を高める音響反射板を備えています。

高揚感あふれる内装計画

柔らかな曲面による秋田らしい優しさに包まれた内装としています。ホール内壁は木レンガの凹凸により、適度に音を拡散・反射させることで、柔らかくブレンドされた豊かな響きのあるホールとしています。



高機能型ホール内観図

2.舞台芸術型ホール 秋田を代表する舞台芸術活動の拠点となるホール

様々なジャンルの演劇活動に対応したホール

演劇、舞踏、伝統芸能等の幅広い演目に対応し、主催者の創造性をかき立てる舞台設備を備えたホールです。演劇を主体とした劇場のため、演者の肉声やせりふが客席に届く臨場感のあるホールとして計画をしています。

一体感を感じられる客席計画

客席は、鑑賞のしやすさを重視し、座席はゆとりのある客席寸法として計画をしています。対面型で観る側と演じる側が一体感を感じられるホールとしています。

舞台芸術に特化した使いやすい舞台計画

様々な演目に合わせて高さが変化するプロセニウム形式のホールです。上手・下手に仮設花道を設けることや舞台床を束立床として構成することで自由な演出を可能とします。舞台芸術の演出効果を高めるために、客席上部での照明等の操作を可能とすることで、思いのままの照明演出ができる計画としています。

一体感のある内装計画

客席と舞台が一体感のある演劇ホールを目指します。秋田らしさを感じられる内装としながら、観客が公演に集中できるよう色彩をおさえた空間としています。公演前や公演後の気分を高揚させる空間としてホール内部を構成しています。



舞台芸術型ホール内観図

3.ホワイエ



開放的で明るいパークホワイエ

ホワイエは、外堀、内堀、中土橋通り側を臨む開放的で明るい空間としています。幕間等に観客がくつろげる広さを確保します。平常時はパークホワイエとして、一般来館者への開放も考慮しています。外堀側ホワイエには、テラスを隣接し、景色も楽しめる計画としています。

4.リハーサル室(1)、(2)



小ホール利用も可能とした2つのリハーサル室

発表会前や本番に近い稽古等に対応できる設備を設置し安全に操作できる計画と、隣室へ音が影響しないよう防振・防音に十分配慮した計画としています。舞台照明設備やパトンを備え、小ホール利用が可能な計画としています。

5.秋田小路



街行く人や都市に開いたエントランス空間

エントランスとなる秋田小路は、中土橋通りに沿って道路と同じレベルで開かれた、様々な魅力あふれる芸術文化の創造拠点とした空間としています。秋田小路は、各ホールの開場前の待合空間であると同時に、情報発信スペース、多目的スペース、練習室を配置しています。

6.アートキューブ



中土橋通りに面した来館者のおもてなしの空間

秋田小路と芸術の路の結節点となり、上階への動線となるエスカレータを配置した吹き抜け空間としています。施設中央に位置し、来館者に分かりやすい計画としています。

計画概要

	床面積	建築面積	構造・規模等	
文化施設	地階: 2,578㎡ 1階: 5,040㎡ 2階: 5,035㎡ 3階: 4,685㎡ 4階: 3,626㎡ 5階: 1,442㎡ 6階: 247㎡	22,653㎡	8,581㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 地上6階地下1階 最高高さ37.1m※中土橋レベルより
附属駐車場	1段: 2,378㎡ 2段: 27㎡	2,405㎡	2,170㎡	鉄骨造、1層2段
合計	25,058㎡	10,751㎡		

文化施設	各部門の構成	主な諸元	
高機能型ホール	客席	客席、オーケストラピット、多目的室	客席数 2,007席、車いす常時: 2席、多目的室: 6席(1階: 1,380席、2階: 627席)
	ホワイエ関係	ホワイエ、トイレ等	プロセニウム間口×高さ 主舞台 開口×奥行 側舞台 幅×奥行 オーケストラピット
	舞台関係	舞台、照明・音響室等	約14.4~21.6m×約9.0~14.0m 可動プロセニウム、音響反射板、吊物バトン、照明バトン 約18.0m×約18.0m(10間) 上手: 約15.3m×約18.0m 下手: 約10.8m×約18.0m 昇降式(椅子収納庫付)約120席、仮設花道(下手側)
	楽屋関係	小・中・大楽屋、アーティストラウンジ、トイレ・シャワー室等	楽屋 収容人数: 約100名 9室(大: 2室、中: 4室、小: 3室)
舞台芸術型ホール	客席	客席、多目的室	客席数 800席、車椅子常時: 2席、多目的室: 4席 (1階: 500席、2階: 300席)
	ホワイエ関係	ホワイエ、トイレ等	プロセニウム間口×高さ 主舞台 開口×奥行 側舞台 幅×奥行 舞台下(奈落)
	舞台関係	舞台、照明・音響室等	約14.4m×約7.2~9.0m 可動プロセニウム、吊物バトン、照明バトン 約14.4m×約14.4m(8間) 上手: 約12.6m×約14.4m 下手: 約6.3m×約14.4m 固定迫・仮設花道(上手・下手側)
	楽屋関係	小・中・大楽屋、アーティストラウンジ、トイレ・シャワー室等	楽屋 収容人数: 約80名 7室(大: 1室、中: 4室、小: 2室)
リハーサル室(1)	舞台関係	演劇・ダンス等練習・リハーサル(小ホール利用対応)	設備 昇降バトン・巻取 Horizont 幕、平土間(約13.0m×約15.0m)
リハーサル室(2)	舞台関係	音楽等練習・リハーサル(小ホール利用対応)	設備 サスペンションライトバトン・看板バトン・Horizont 幕(昇降)、平土間(約12.0m×約20.0m)
エントランスロビー(秋田小路)	エントランスロビー	来場者の待機スペース ※情報発信にぎわい創出部門との一体的利用	
情報発信にぎわい創出部門	情報発信スペース	観光情報コーナー、芸術文化情報コーナー	
	多目的スペース	多目的スペース	
	レストラン	レストラン、厨房	
	キッズコーナー等	キッズコーナー、授乳室、おむつ替え室	
文化創造部門(芸術の路)	創作室	創作室	3室
	和室	和室	2室
	研修室	研修室	3室
	練習室	音楽・演劇等練習室	9室(生音用練習室2室、電気楽器用練習室4室、ダンス・演劇用練習室3室)
管理・共用部	運営管理	事務室、応接室、会議室、給湯室、倉庫等	
	共用部	通路、機械室等	
	外部駐輪場等	駐輪場、外部倉庫、ゴミ置き場、駐車場、連絡通路(外部)	駐輪台数 駐輪場: 70台程度(外部含む) バイク置場: 10台程度(外部)
附属駐車場	自走式 1層2段	駐車台数 附属駐車場: 200台程度(車椅子用5台含む) 外構・その他駐車可能スペース: 50台程度 EV1基	